

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道400号 <small>しもしおばら</small> 下塩原バイパス		事業区分 一般国道	事業主体 栃木県	
起終点 自：栃木県 <small>なすぐん</small> 那須郡 <small>しおばらまち</small> 塩原町 <small>せきや</small> 関谷 至：栃木県 <small>なすぐん</small> 那須郡 <small>しおばらまち</small> 塩原町 <small>しもしおばら</small> 下塩原		延長	4.6km	
事業概要 一般国道400号は、茨城県水戸市から福島県耶麻郡西会津町に至る、延長約118kmの主要幹線道路であるとともに、本県有数の観光地である塩原温泉街への唯一の生命線である。下塩原バイパスは、安全かつ確実な交通を確保するトンネル構造を主体とした延長約4.6kmの2車線道路である。				
事業の目的、必要性 下塩原バイパスは、連続降雨200mmを超えると全面通行止めとなる異常気象時通行規制区間を解消するとともに、行楽シーズンや週末に発生する断続的な渋滞を緩和し、塩原温泉街における生命線の確保や観光産業の活性化、物流ルートの強化等に大きく寄与するものである。				
全体事業費	150億円		計画交通量	7,700台/日
費用便益比	B/C 3.0 (感度分析2.7)	総費用 126億円 〔事業費：121億円〕 〔維持管理費：5億円〕	総便益 372億円 〔走行時間短縮便益：345億円〕 〔走行費用減少便益：27億円〕 〔交通事故減少便益：0億円〕	基準年 平成15年
事業の効果等 ・物流効率化の支援(那須塩原駅〔新幹線駅〕へのアクセス向上が見込まれる) ・安全で安心できるくらしの確保(大田原赤十字病院〔三次医療施設〕へのアクセス向上が見込まれる) ・災害への備え(現道の防災点検箇所〔24箇所〕が解消される) (現道の事前通行規制区間〔連続雨量200mm〕を解消する) 他19項目に該当(定量的評価項目を含む)				
関係する地方公共団体等の意見 下塩原バイパスは、観光の支援、地域交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、塩原町をはじめとする関係2市10町3村の首町で構成される「喜多方湯津上間国道昇格整備促進期成同盟会」(平成15年10月30日)より、また、地元塩原町(平成15年12月12日)よりそれぞれ早期整備の要望を受けている。				
事業概要図				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。